

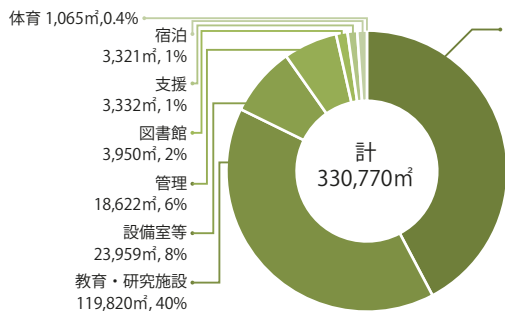
亥鼻キャンパス  
Inohana Campus

現状と課題

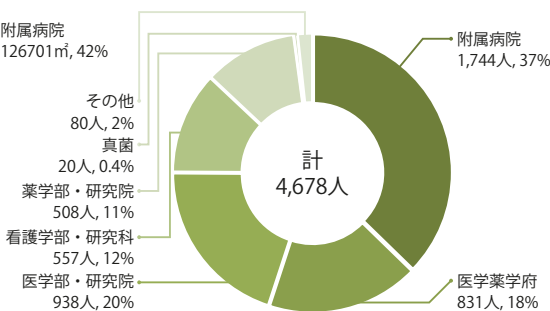
# 亥鼻キャンパス概要



所在地	千葉市中央区亥鼻 1-8-1
設置年度	昭和 24 年
建築面積	64,123 m <sup>2</sup>
延床面積	300,770 m <sup>2</sup>
敷地面積	266,033 m <sup>2</sup>
棟数	84 棟
学部	医学部・看護学部・薬学部
大学院	医学研究院・医学薬学府・看護学研究科・薬学研究院・看護学研究院
センター等	附属病院・附属看護実践研究指導センター・附属専門職連携教育研究センター・附属薬用資源教育研究センター・附属クリニカル・スキルズ・センター・附属法医学教育研究センター・附属超高齢社会研究センター・附属国際粘膜免疫アレルギー治療学研究センター・附属動物実験施設・真菌医学研究センター・社会精神保健教育研究センター・予防医学センター・未来医療教育研究センター・再生治療学研究センター・子どものこころの発達教育研究センター・バイオメディカル研究センター・附属図書館亥鼻分館・災害治療学研究所

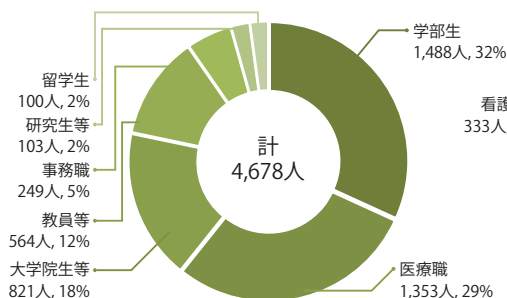


区別面積分布

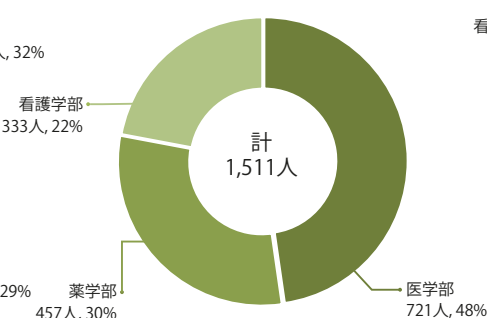


所属別構成員比(学生・教職員)

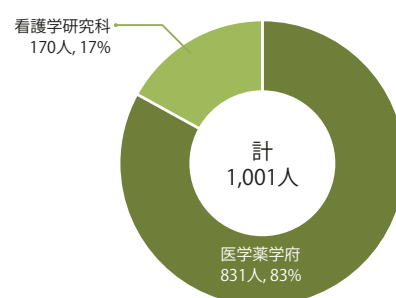
施設面積：施設実態報告面積等集計表 (R3.5.1) 施設環境部  
構成員：大学概要データ (R3.5.1) 留学生データ (R3.5.1) ヒアリング



分類別構成員比(学生・教職員)



構成員比 学部生



構成員比 大学院生

# 01-1 周辺地域・土地利用



キャンパス周辺マップ

## ■ CMP2017 からの変化

- ・地区計画策定

## ■ 現状・課題

- ・都市計画道路 (3.4.80 本町星久喜町線) の道路拡幅事業について、千葉市と協議を行っている。
- ・市道 (本町 22 号線) の歩道・自転車道が未整備
- ・キャンパス東端部の地下にトンネルがあり、建物建設が難しい。
- ・キャンパス内に大きな高低差があり、ゾーン形成を阻害している。
- ・北側住宅地への配慮としてキャンパス北側の急傾斜地の管理
- ・丹後堰への雨水流出に関わる千葉市、周辺地域への対応

## ■ 検討の方向

- ・都市計画道路 (3.4.80 本町星久喜町線) の拡幅に向けた千葉市との協議

- ・医学系総合研究棟新築に合わせた新たな入口の整備



① 道路拡張 (本町星久喜町線)



② 敷地内高低差

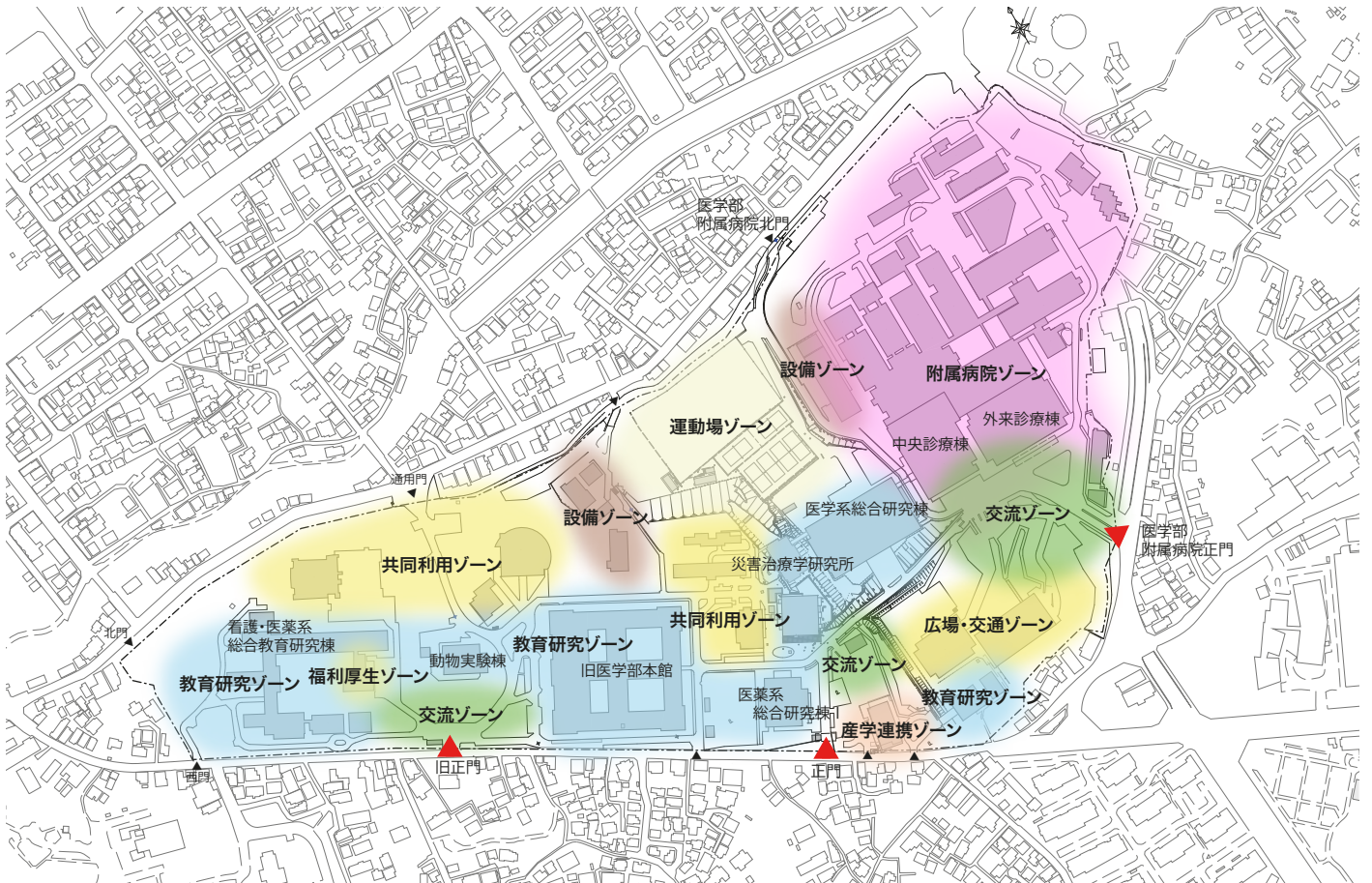


③ 北側急斜面



④ 歩道整備 (本町 22 号線)

# 01-2 機能別ゾーン



現況ゾーンマップ

## ■ CMP2017 からの変化

医学系総合研究棟の完成により、教育研究ゾーンが東側に拡張し、また中央診療棟の完成により、附属病院ゾーンとの連携が向上した。

## ■ 現状・課題

亥鼻キャンパスは、教育研究、産官学連携、附属病院、共同利用、住居、運動場、緑地ゾーンが混在している。

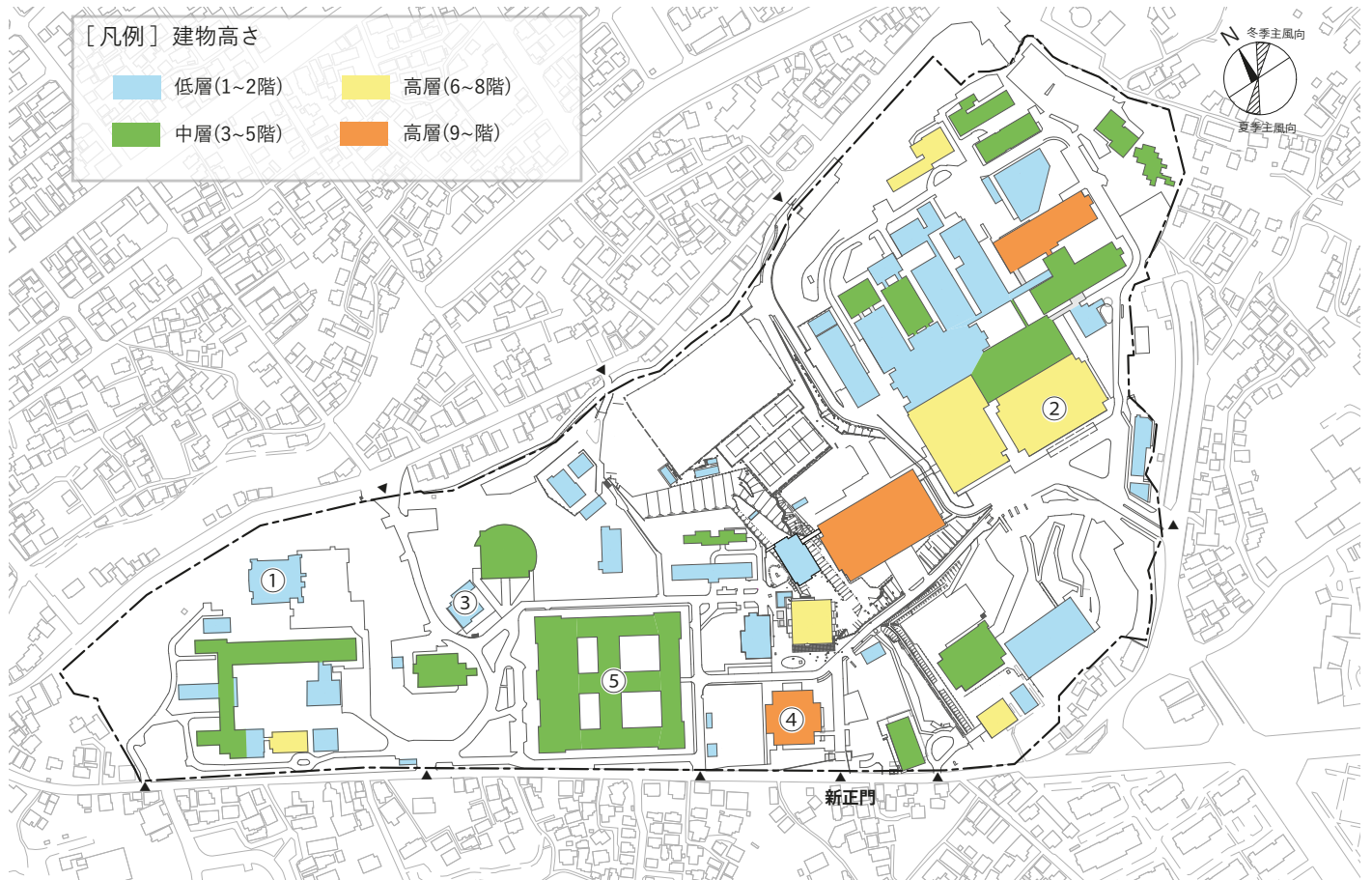
## ■ 検討の方向

- ・教育、研究の発展を支えるゾーニング計画
- ・医学部正門前広場を交流ゾーンの核とし、共同利用、教育研究ゾーンが周辺を取りまくゾーニング計画
- ・共同利用ゾーンの連携
- ・地域連携・産学連携を含めた各ゾーンの明確化

教育研究ゾーン	医学部
	薬学部
	看護学部
	看護学研究科
	医学薬学府
	医学研究院
	薬学研究院
	総合教育研究施設
	動物実験施設
	看護実践研究指導センター
社会精神保健教育研究センター	
真菌医学研究センター	
バイオメディカル研究センター	
予防医学センター	
未来医療教育研究センター	
再生治療学研究センター	
子どものこころの発達教育研究センター	
産学連携ゾーン	亥鼻イノベーションプラザ
附属病院ゾーン	医学部附属病院
共同利用ゾーン 地域交流ゾーン	福祉施設 みのはな記念講堂・みのはな同窓会館 附属図書館亥鼻分館
住居ゾーン	職員宿舎、看護師宿舎 雄翔寮（学生寮）
運動場ゾーン 課外活動ゾーン	野球場・サッカーコート・テニスコート・体育館・弓道場・サークル会館
緑地ゾーン	七天王塚、その他

(表) 機能別ゾーン一覧

# 01-3 建物デザイン・高さ



建物高さ分布図

施設環境部データ集より

## ■ CMP2017 からの変化

- ・2017年 救急外来棟 (1階建)
- ・2017年 いのはなテラス (2階建)
- ・2020年 中央診療棟 (8階建)
- ・2020年 放射線診療棟 (1階建)
- ・2021年 医学系総合研究棟 (11階建) が完成した。

- ・キャンパス全体の建物配置計画と合わせ、壁面線、建物高さ、スカイライン、外装色、材料に関するガイドラインの検討
- ・医学部本館の今後の活用方針

## ■ 現状・課題

亥鼻キャンパスの建物の多くは3～5階の中層であるが、6～9階の建物が7棟、10階以上の建物が4棟ある。

- ・建物の色、デザインの調和がとれていない。
- ・医学部の「顔」である旧医学部本館の保存または再生。

## ■ 検討の方向

- ・土地の有効活用と敷地の高低差に配慮したスカイラインを形成する建物高さ規定



① いのはな記念講堂 (低層)



② 外来診療B棟 (高層)



③ いのはな同窓会館 (低層)

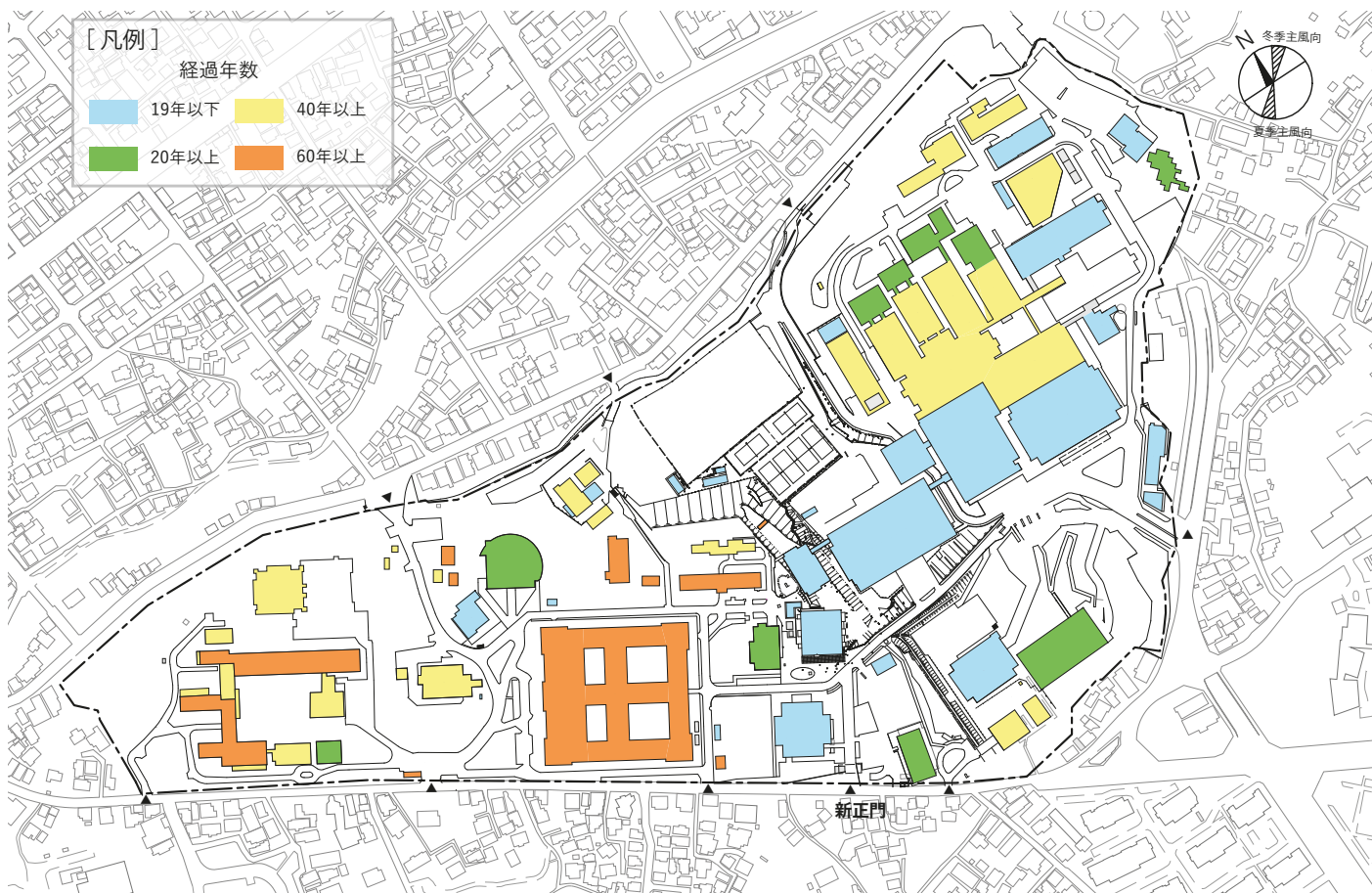


④ 医薬系総合研究棟II (高層)



⑤ 旧医学部本館 (中層)

# 01-4 建物老朽



建物経年別・機能改修状況別配置図

施設環境部データ集より

## ■ CMP2017 からの変化

- ・ 要改修率  
CMP2016 14.5% → CMP2022 10.1%

## ■ 現状・課題

- ・ 亥鼻キャンパスにある建物 300,770 m<sup>2</sup>のうち、全面的な機能改修後 25 年以上経過し、改修検討が必要な面積 30,216 m<sup>2</sup>を旧医学部本館が占める。

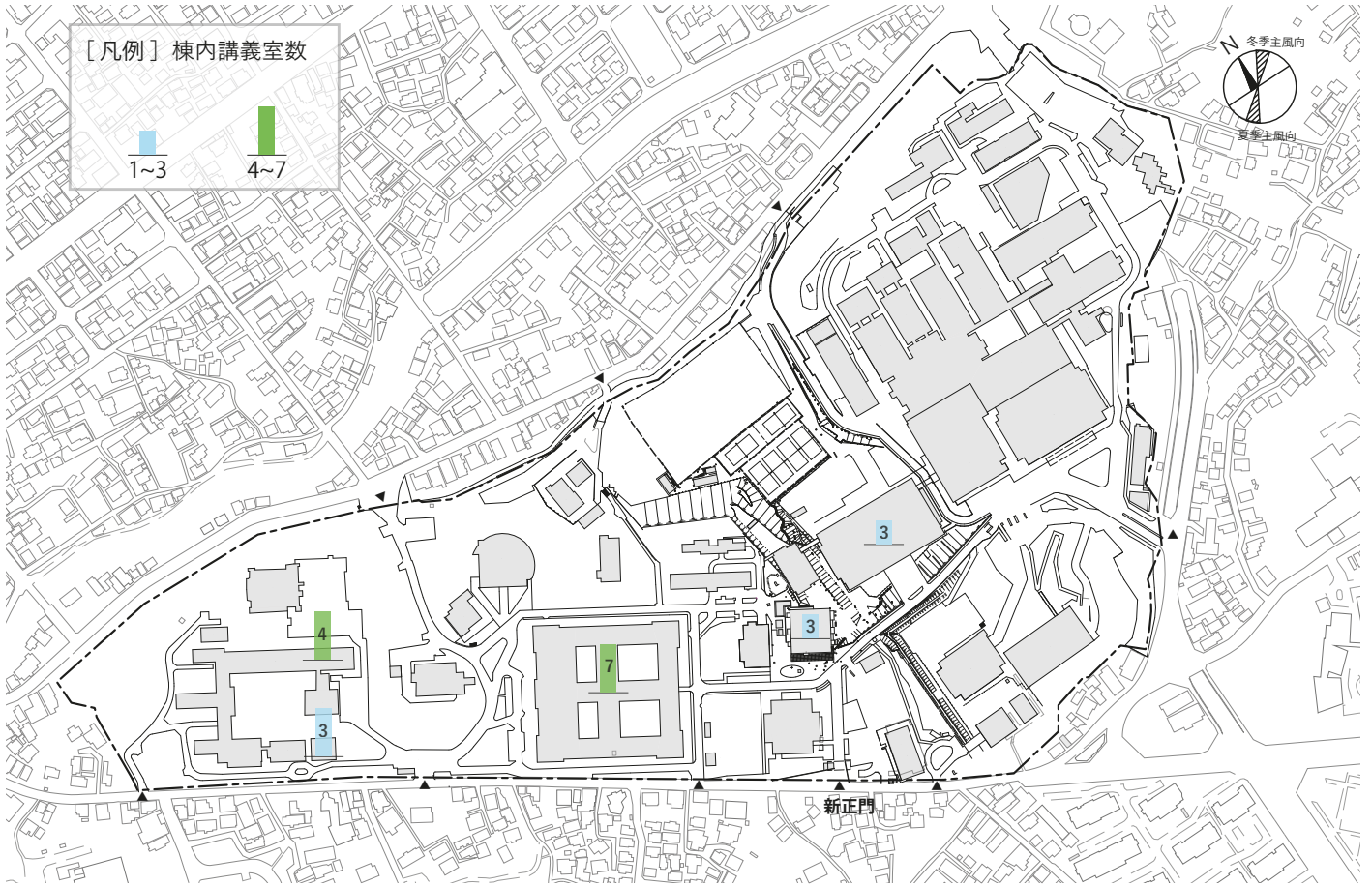


旧医学部本館

## ■ 検討の方向

- ・ 将来的な改修保全と建替えの判定方法を検討し、劣化防止計画に反映
- ・ 旧医学部本館の今後の活用方針
- ・ 動物実験施設の今後のあり方

# 01-5 講義室



講義室分布図

施設環境部資料より

## ■ CMP2017 からの変化

60%以上の稼働率をもつ面積割合  
30.6%(2020年)

## ■ 現状・課題

亥鼻キャンパスには、全体で17室の講義室がある。稼働率についてみると、60%以上の稼働率をもつ面積割合は講義室全体の3,067㎡のうち939㎡で全体の30.62%である。

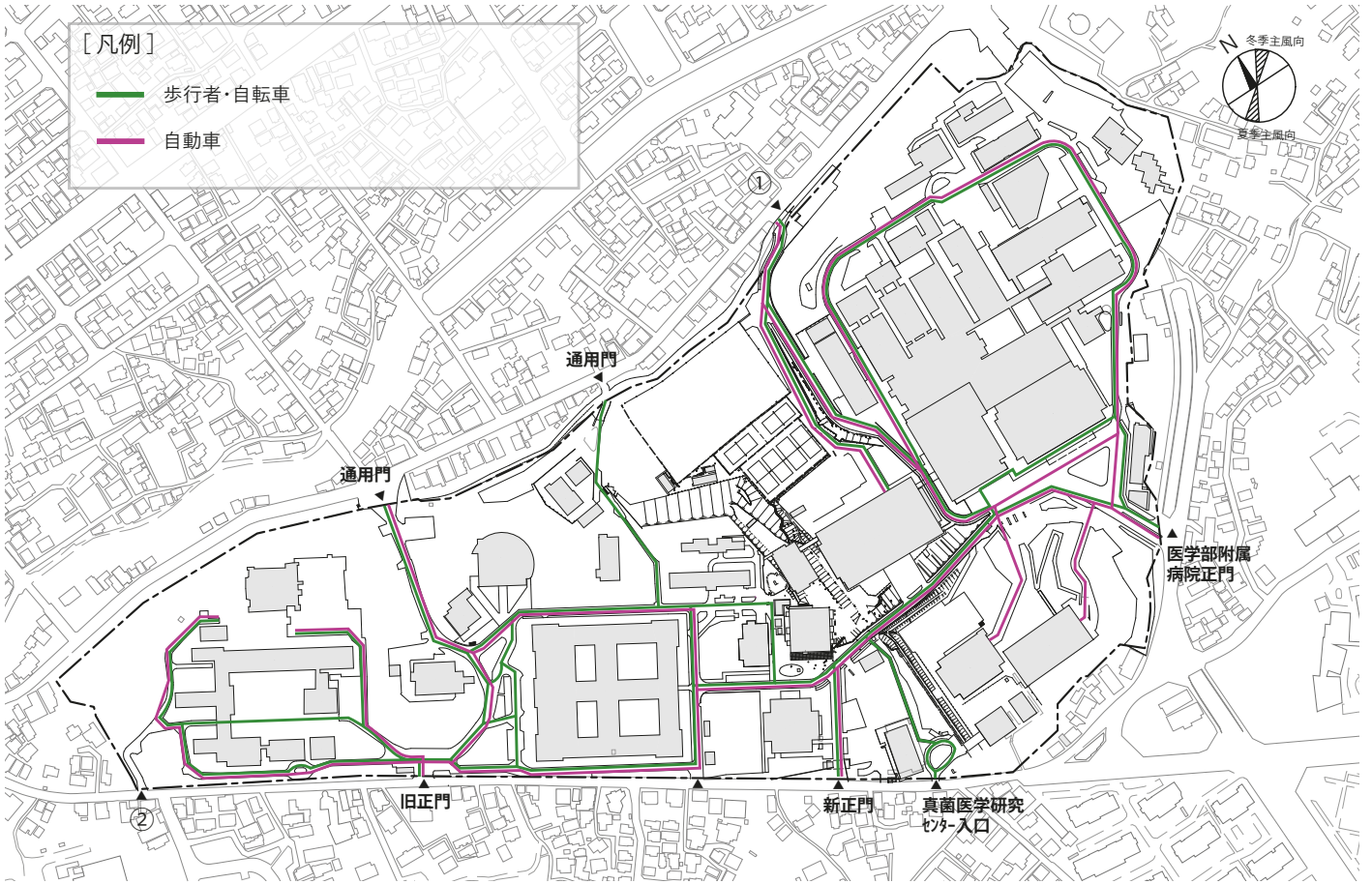
- ・医薬看共通講義コマ数の増加により大講義室（300～400人規模）が不足している。
- ・薬学部講義棟（プレハブ）は、防音、狭隘などの点で問題がある。

## ■ 検討の方向

- ・講義室等の部局、学科を横断した有効な共同利用の推進
- ・3学部が共同で使用できる大教室（300～400人規模）の確保
- ・記念講堂の活用
- ・少人数ゼミ室の設置
- ・建物配置計画とゾーニングに反映
- ・薬学部講義棟（プレハブ）の講義室3室の環境改善
- ・建物の配置計画とゾーニングに反映

※稼働率調査は新型コロナの影響を除くため2020年の状況を調べた（旧本館7部屋を含み、PFI3部屋は含まない）。その後、2021年4月からPFI稼働開始。旧本館は2021年～2022年に順次引越、稼働停止。

# 02-1 交通動線



交通動線図

施設環境部データ集より

## ■ CMP2017 からの変化

- ・2021（令和3）年に医学系総合研究棟横に向けた交通動線が完成した

## ■ 現状・課題

亥鼻キャンパスには、キャンパス北側に4カ所、南側に6カ所、東側に2カ所の門がある。

- ・キャンパス内道路の歩車分離が図られていない。
- ・病院ゾーンと研究教育ゾーンをつなぐ連絡通路が1ルートのみで、管理動線と学生、来客動線が混合している。
- ・多数の路上駐車がある。
- ・市道拡幅にともなう敷地南側の再整備が計画中

## ■ 検討の方向

- ・歩車分離、交通ルートの見直し
- ・自動車乗り入れ禁止ゾーン
- ・駐車場規模と利用者数
- ・病院ゾーンと研究教育ゾーンをつなぐ複数ルート
- ・キャンパスの外周道路
- ・門の位置づけと役割に見合った環境整備



① 医学部附属病院北門



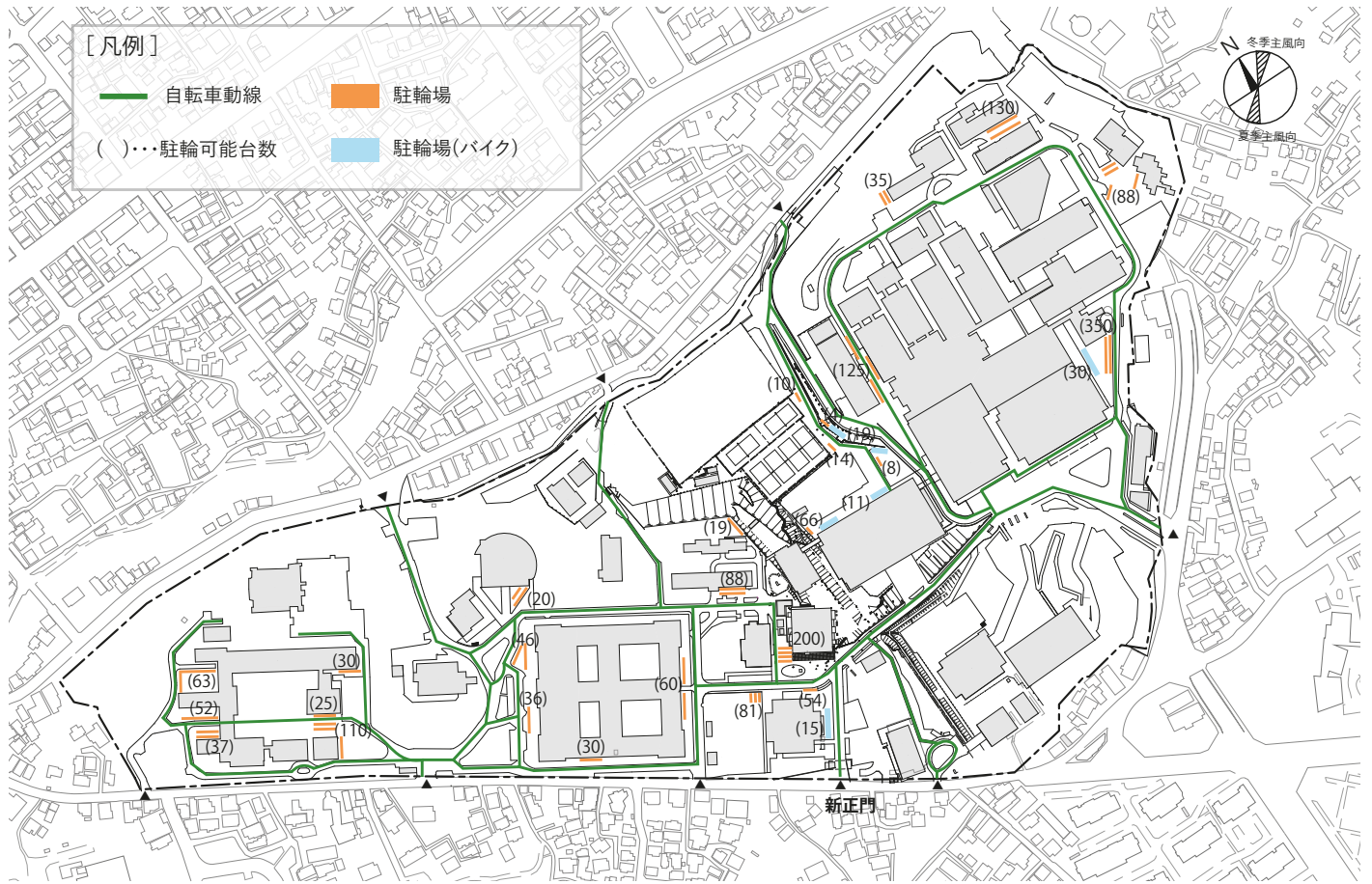
② 西門



③ 新正門



# 02-2 駐輪場



駐輪場分布図

施設環境部データ集より

## ■ CMP2017 からの変化

- ・医学系総合研究棟の完成（2021(令和3)年3月)に伴い、駐輪場を新設。
- ・自転車の数についての不満度  
32%(2016) → 22%(2021) でやや減少

## ■ 現状・課題

亥鼻キャンパスの駐輪場が亥鼻キャンパス全体に分散配置されている。アメニティアンケートでは、約 23%が駐輪場の場所について、約 36%が駐輪場の数について、約 22%が自転車の数についてそれぞれ不満を感じている。

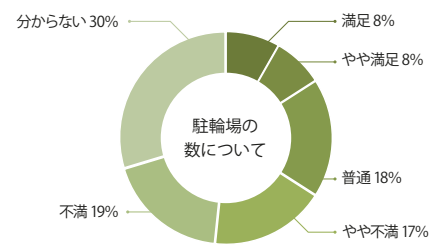
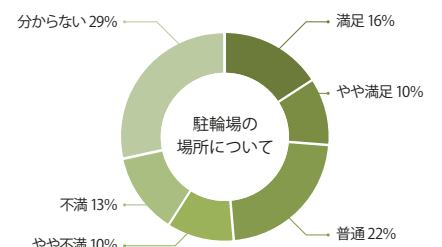
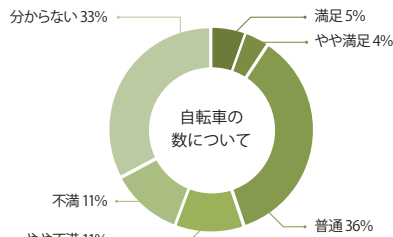
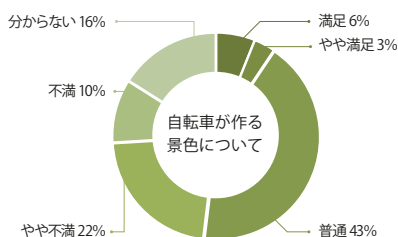
- ・病院地区駐輪場の配置について、患者歩行動線と

錯綜し、歩行者の安全が損なわれている。

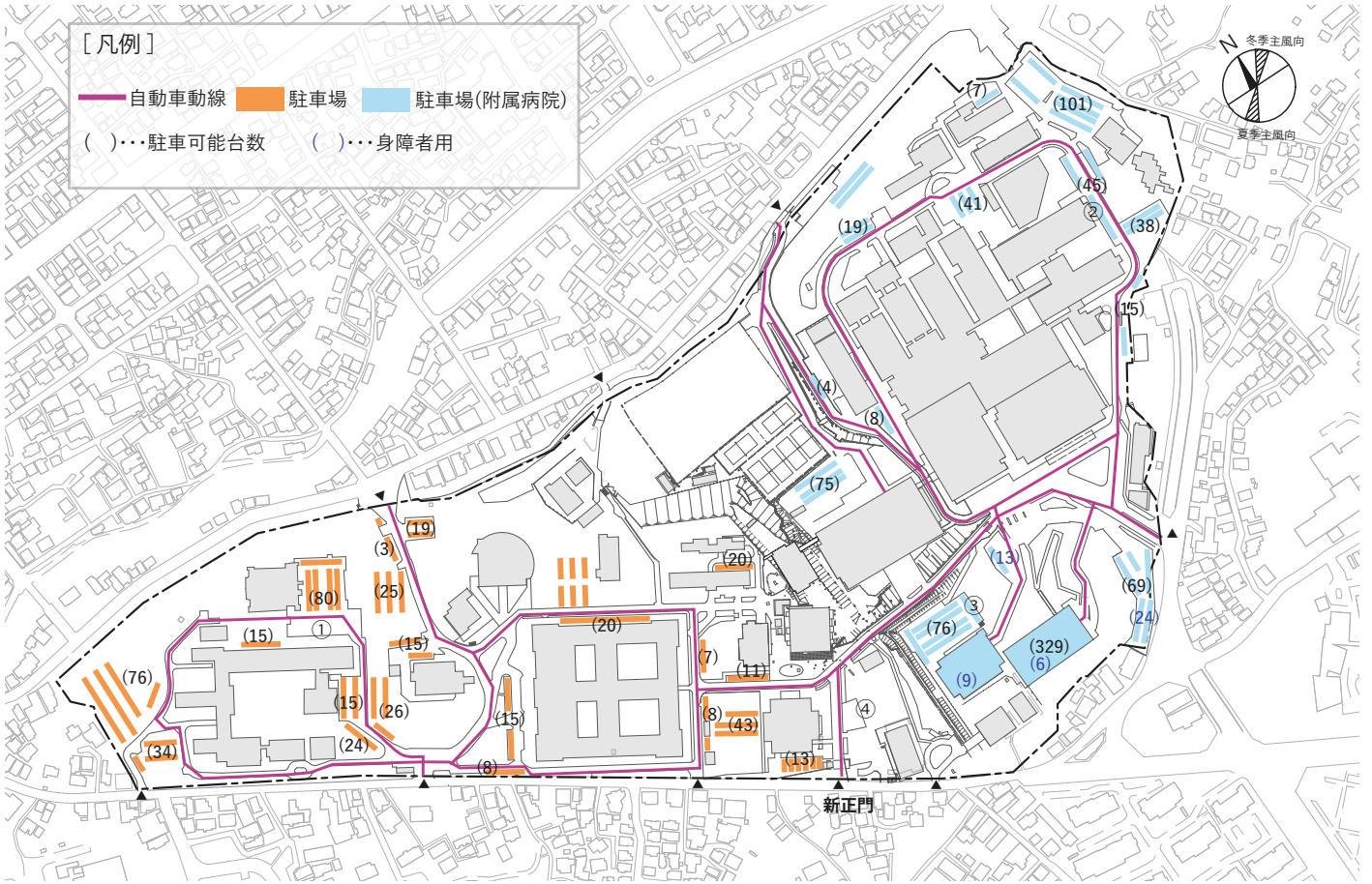
- ・旧医学部本館北側とサークル会館の間の道路の不法駐輪が車両の交通に支障をきたしている。

## ■ 検討の方向

- ・ゾーニング計画に合わせた駐輪場設置
- ・市道拡幅に伴う既存駐輪場の移設
- ・サークル会館周辺の整備



# 02-3 駐車場



駐車場分布図

施設環境部データ集より

## CMP2017 からの変化

医学系総合研究棟の新設に伴い、駐車場を併設した。

- ・市道拡幅に伴う既存駐車場の移設
- ・駐車場の場所についての不満度 45%(2016) → 26%(2021) で減少している。

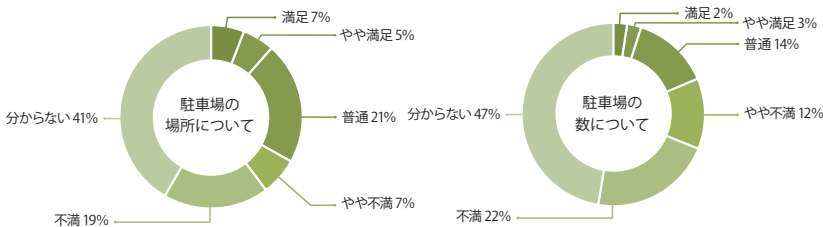
- ・病院地区駐車場の配置について、患者歩行動線と錯綜し、歩行者の安全が損なわれている。病院地区の職員駐車場は路上駐車が常態化し、通行上危険である。

## 現状・課題

亥鼻キャンパスの駐車場は、キャンパス全体に分散配置されている。アメニティアンケートでは約 26% が駐車場の場所に不満を感じており、約 34% が駐車場の数に不満を感じている。

## 検討の方向

- ・ゾーニング計画に合わせた駐車場設置



① おののはな記念講堂前駐車場



② 附属病院周辺の路上駐車

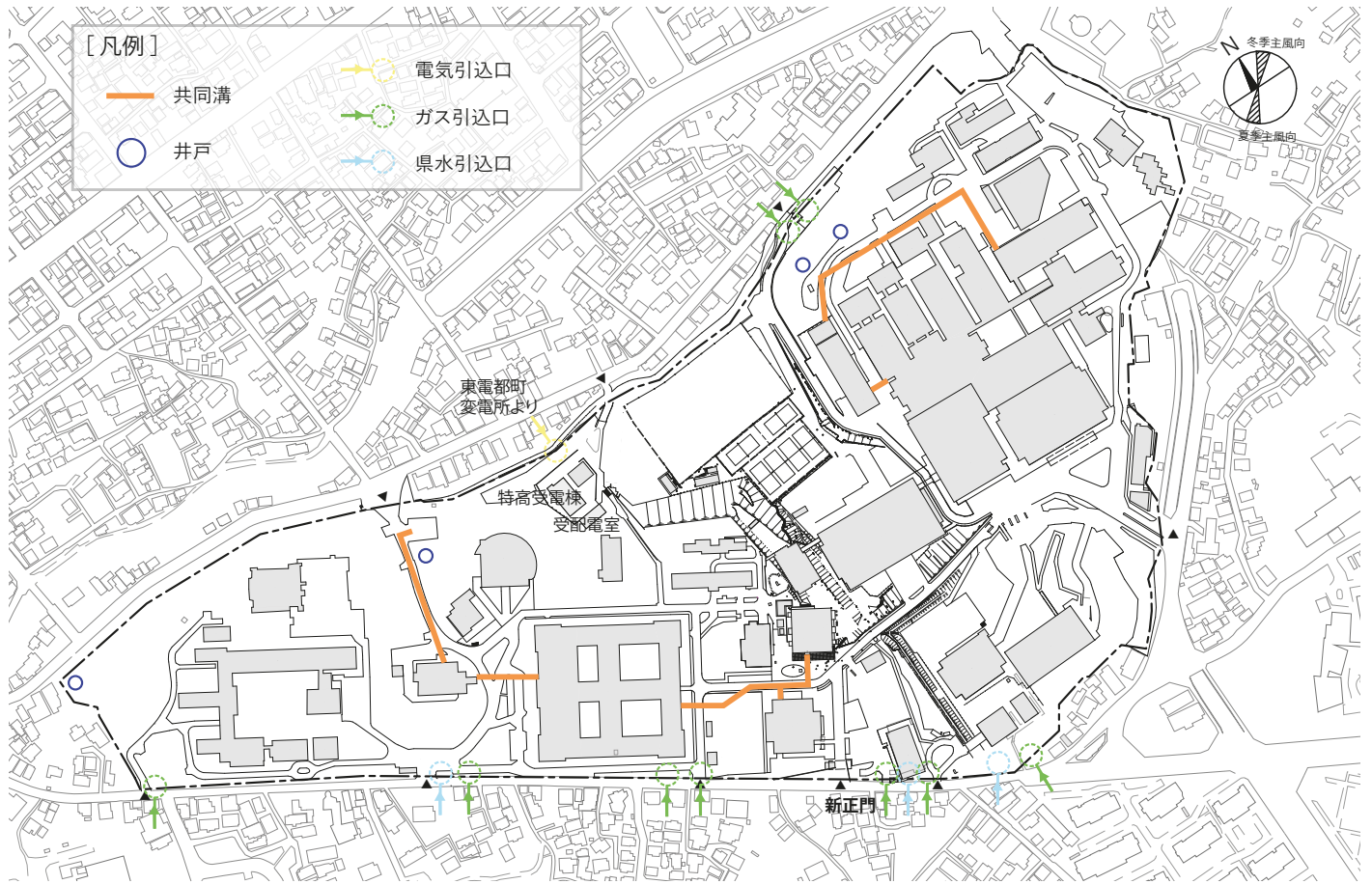


③ 立体駐車場



④ 医薬系総合研究棟脇駐車場

# 02-4 基幹設備



基幹設備図

施設環境部データ集より

## ■ CMP2017 からの変化

- ・給水管の老朽改修及び耐震化は2021年に完了した。

## ■ 現状・課題

亥鼻キャンパスの共同溝の設置は、一部に留まっており、その他の電気、ガス、上下水道のインフラ設備は大地震の発生時には被害を受ける可能性がある。

## ■ 検討の方向

- ・維持管理コストの低減を図る共同溝の段階的整備手法
- ・修繕や設置期間と場所など管理の記録のデータ化
- ・災害に強い基幹設備



医学部附属病院エネルギーセンター

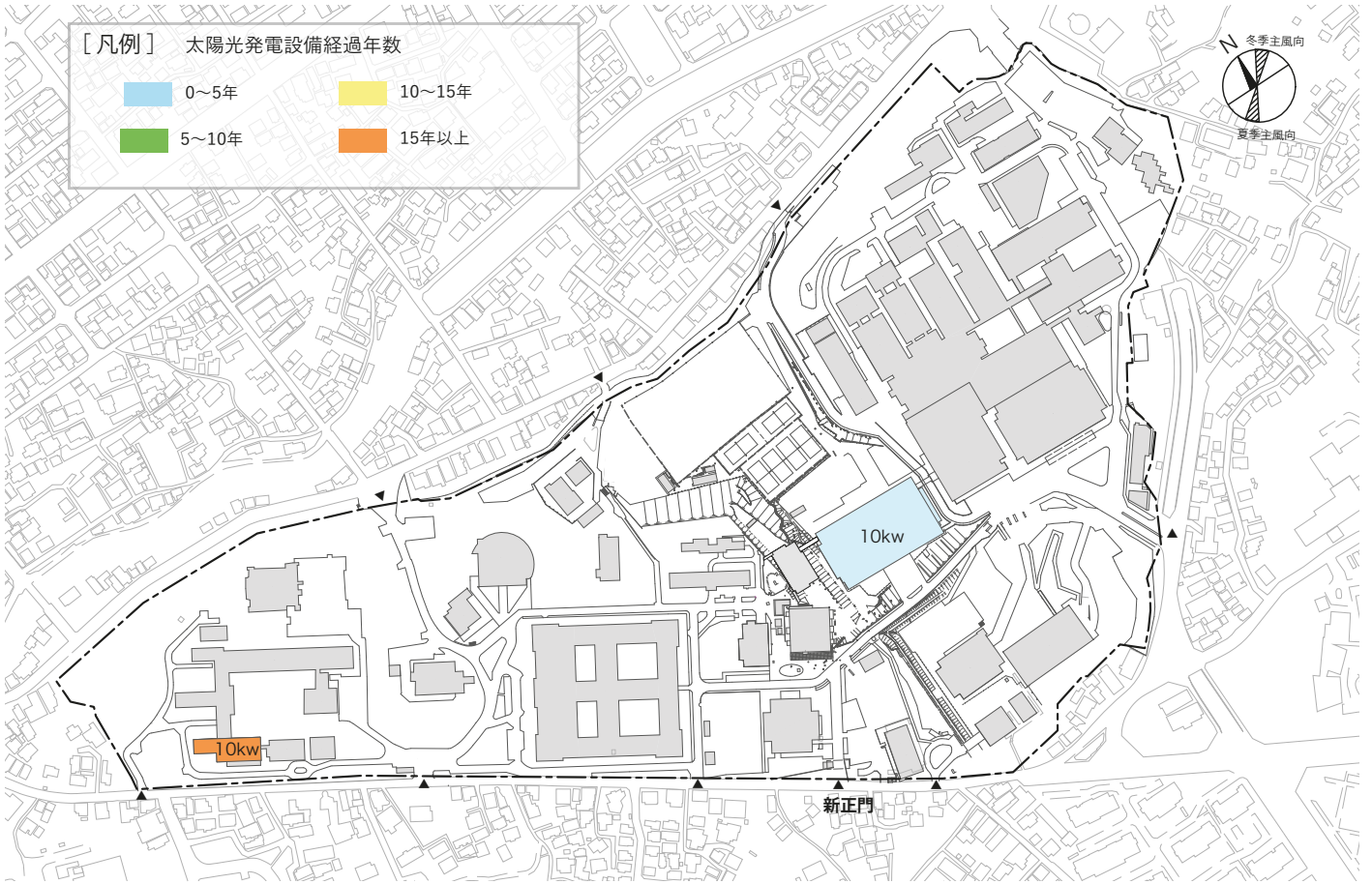


給水所

(表) 基幹設備の現状と検討の方向

	現状	検討の方向
共同溝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院地区は全て共同溝内</li> <li>・教育研究部門は看護学部が埋設管</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院地区は再開発に基づき増設変更</li> <li>・教育研究部門は現状共同溝を利用する事を基本とし、再開発計画に応じて増設、変更を行うものとする。</li> </ul>
県水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メインルートは全て共同溝内であるが、看護学部系統、真菌医学研究センター系統は埋設配管。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再開発計画に応じて計画</li> </ul>
井水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋設配管である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再開発計画に応じて計画</li> </ul>
ガス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院地区は全て共同溝内</li> <li>・教育研究部門は看護学部が埋設配管</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再開発計画に合わせて共同溝内埋設を行う。</li> </ul>
電力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほぼ埋設配管である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再開発計画に合わせて共同溝内埋設を行う。</li> </ul>

# 02-5 エネルギー消費量・CO<sub>2</sub> 排出量・創エネルギー量



太陽光パネル分布図

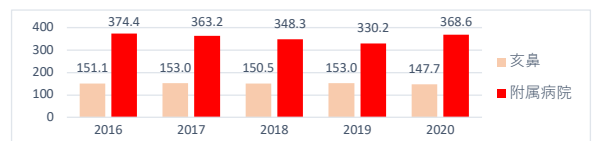
施設環境部データ集より

## ■ CMP2017 からの変化

- 年間エネルギー消費 (TJ) (図 1)  
 亥鼻 151.1(2016) → 147.7(2020)  
 附属病院 374.4(2016) → 368.6(2020)
- 年間エネルギー消費量原単位 (MJ/ m<sup>2</sup>) (図 2)  
 亥鼻 1,605(2016) → 1,569(2020)  
 附属病院 3,007(2016) → 2,906(2020)
- 年間 CO<sub>2</sub> 排出量 (t) (図 3)  
 亥鼻 5,966(2010) → 7,576(2015)  
 附属病院 18,674(2016) → 17,606(2020)
- 年間 CO<sub>2</sub> 排出量原単位 (t-CO<sub>2</sub> / m<sup>2</sup>) (図 4)  
 亥鼻 80.0(2016) → 74.5(2020)  
 附属病院 150.0(2016) → 138.8(2020)

## • CASBEE 導入

※ CASBEE(Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency) 建築環境総合性能評価システム



(図 1) エネルギー消費量 (TJ)



(図 2) エネルギー消費量原単位 (MJ/ m<sup>2</sup>)



(図 3) CO<sub>2</sub> 排出量 (t-CO<sub>2</sub>)



(図 4) CO<sub>2</sub> 排出量原単位 (t-CO<sub>2</sub> / m<sup>2</sup>)

## ■ 現状・課題

- 附属病院でのエネルギーの消費量が多い。

## ■ 検討の方向

- 太陽光発電設備など自然エネルギー活用の具体的方策

# 03-1 学生スペース・交流スペース



学生・交流スペース分布図

キャンパス整備企画室調査より

## ■ CMP2017 からの変化

屋内休憩・交流スペースの不満度

46%(2016) → 38%(2021)

## ■ 現状・課題

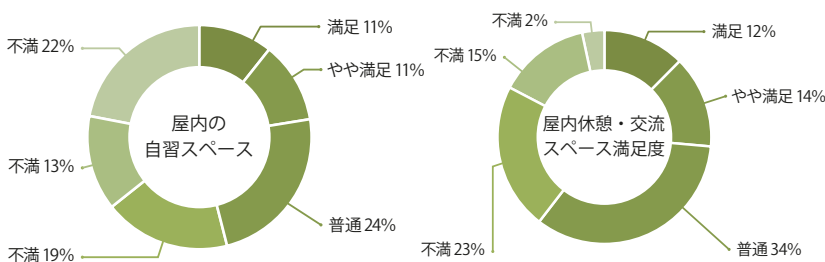
リフレッシュスペース 39 カ所、学習スペースが 1 カ所、フリースペース 3 カ所、附属図書館、学生支援センターがキャンパス内に分散配置されている。アンケートでは約 38% が屋内休憩・交流スペースに不満を感じている。

- ・リフレッシュスペースの配置のバランスがとれていない。

- ・昼休みに講義室で昼食をとる学生が多く講義室等のゴミ問題がある。

## ■ 検討の方向

- ・教育、研究施設だけではない学びの場を形成するため、学習スペース、学生や教職員、学外者の交流の場の充実



① 福祉施設



② サークル会館



③ 福祉施設 (食堂)



④ リフレッシュコーナー

# 03-2 広場・オープンスペース



広場・オープンスペース分布図

キャンパス整備企画室調査より

## ■ CMP2017 からの変化

## ・屋外家具の設置検討

屋外休憩・交流スペースの不満足度  
49%(2016) → 54%(2021)

## ■ 現状・課題

- ・ベンチのある広場が2か所ある。アンケートでは約22%が屋外の自習スペースに不満を感じている。
- ・学生・教職員、学外者の交流スペースが不足している。

## ■ 検討の方向

- ・アプローチ（門）の直近に広場を配置



① 看護学部周辺



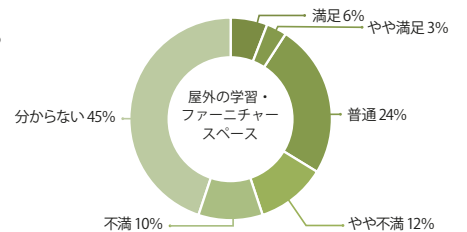
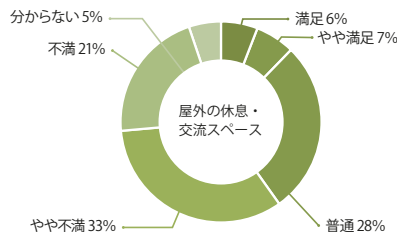
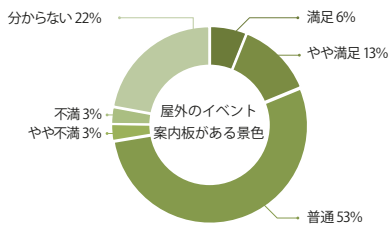
① 看護学部周辺



② 旧医学部正門周辺



③ 医学系総合研究棟II前



# 03-3 樹木・緑地



樹木・緑地分布図

キャンパス整備企画室調査より

## ■ CMP2017 からの変化

- ・ 樹木の量についての不満足度  
12.8%(2016) → 14%(2020)

## ■ 現状・課題

- ・ 亥鼻キャンパスの樹木、緑地は緑豊かで、看護学部中庭、七天王塚、附属病院と教育研究ゾーンをつなぐ桜並木の土手、凡秋谷などランドスケープ資源がある。アメニティアンケートでも樹木の量に対する満足度が高い。
- ・ 現在緑地になっている箇所が十分に管理されていない。

- ・ 十分な管理計画がとられていない。
- ・ 記念植樹など場当たりに植樹されている。

## ■ 検討の方向

- ・ 緑化環境（屋外環境・ランドスケープ整備）計画
- ・ 維持管理計画（指針）



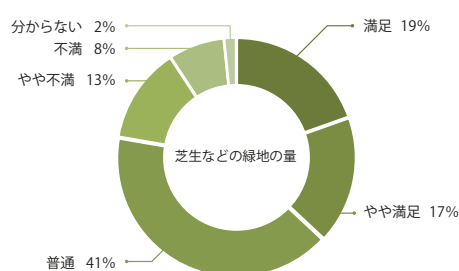
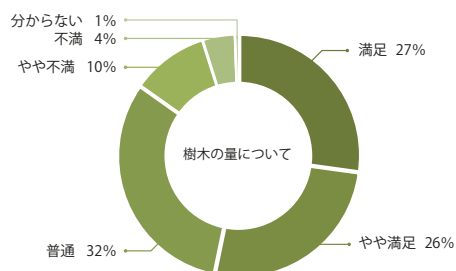
① 七天王塚



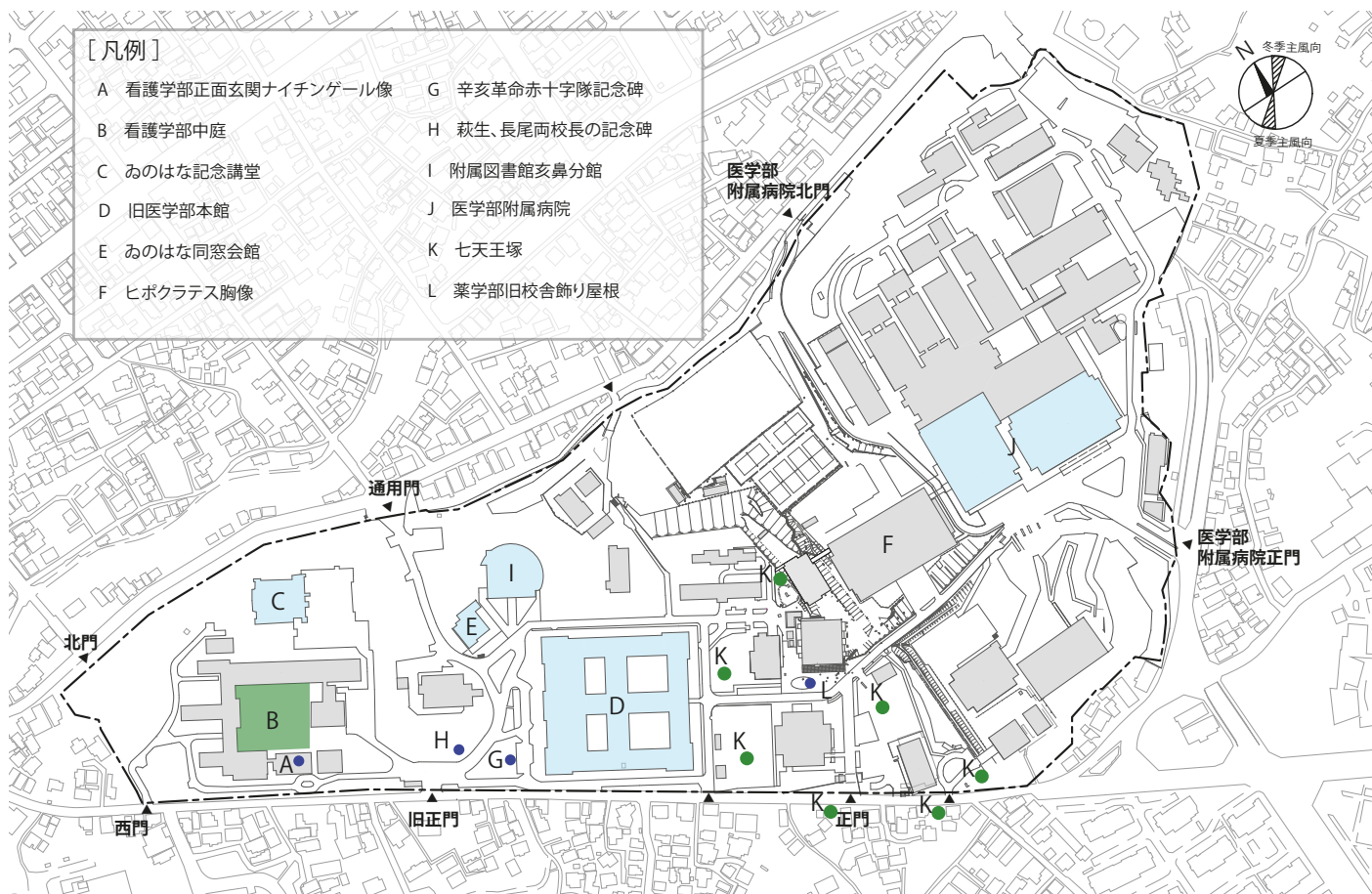
② 土手の並木



③ 動物実験施設周辺



# 03-4 シンボル・歴史資源



シンボル・歴史資源分布図

千葉大学ホームページより

## ■ CMP2017 からの変化

- ・ 2017 年 いのはなテラス (2 階建)
- ・ 2021 年 医学系総合研究棟 (11 階建) が完成した。



C みのはな記念講堂



D 旧医学部本館

## ■ 現状・課題

- ・ 玄鼻キャンパスには、旧医学部本館、みのはな記念講堂、記念碑、記念像などの歴史資源がある。



D 旧医学部本館内部



H 記念碑

## ■ 検討の方向

- ・ 旧医学部本館などの歴史資源を活かした整備



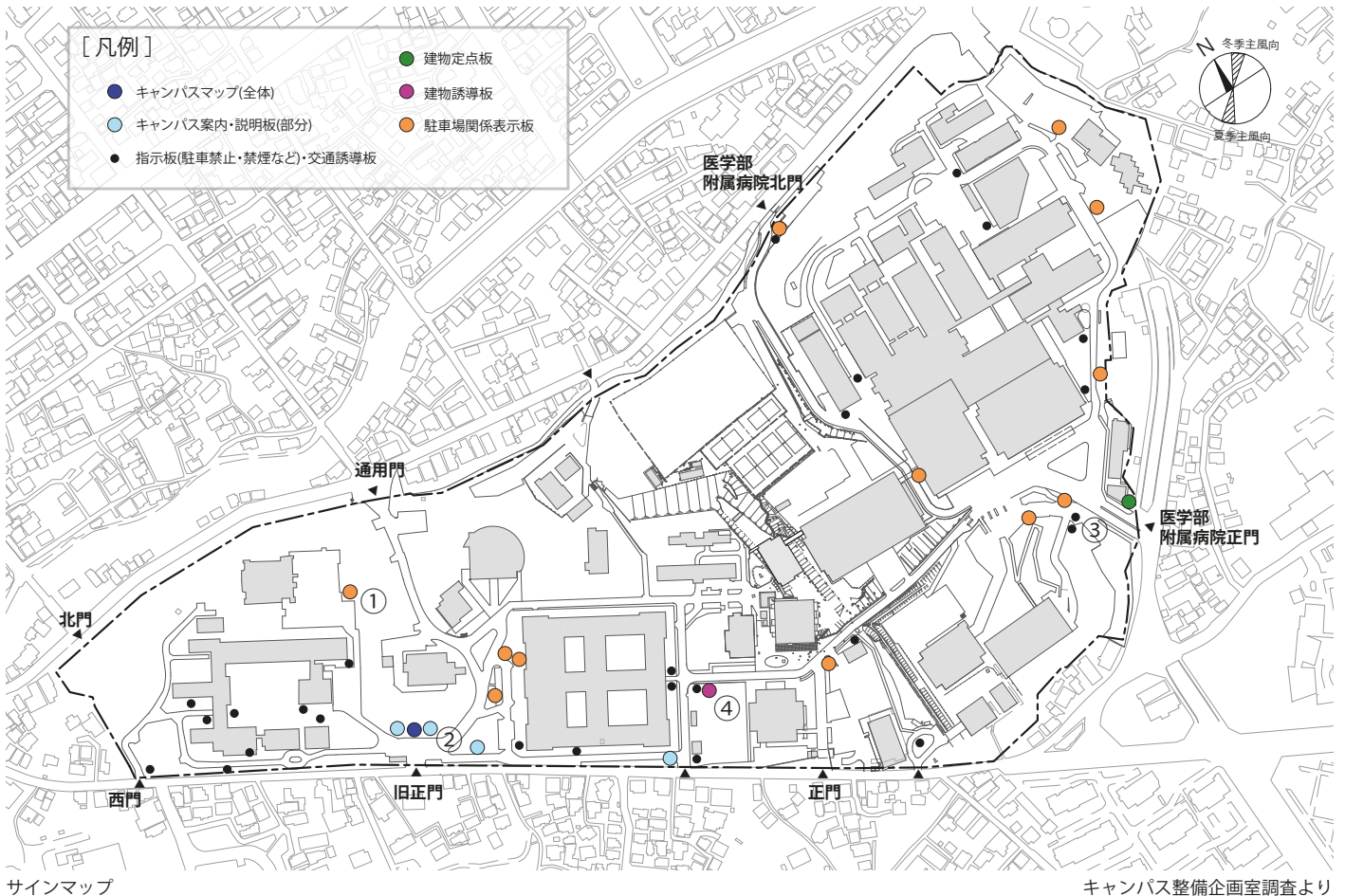
K 七天王塚



L 薬学部旧校舎飾り屋根



# 03-5 サイン・情報掲示

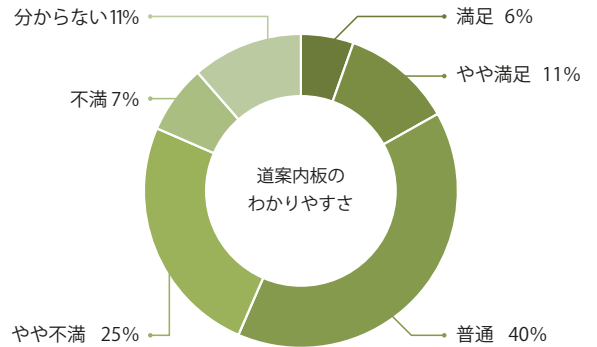


## ■ CMP2017 からの変化

- ・道案内板の分かりやすさの不満足度  
47.2%(2016) → 32.0%(2021)

## ■ 現状・課題

- ・亥鼻キャンパスのサイン（表示・誘導・案内）は、デザインがばらばらで統一感がない。
- ・アメニティアンケートでは約 32% が誘導サインが分りにくいと回答している。



## ■ 検討の方向

- ・サインの整備計画
- ・国際化に対応する表記方法
- ・情報発信のための掲示手法のあり方
- ・インフォメーションセンター設置
- ・病院内のサイン計画
- ・動線計画見直しの交通サインへの反映



① 駐車場関係表示板



② キャンパスマップ全体

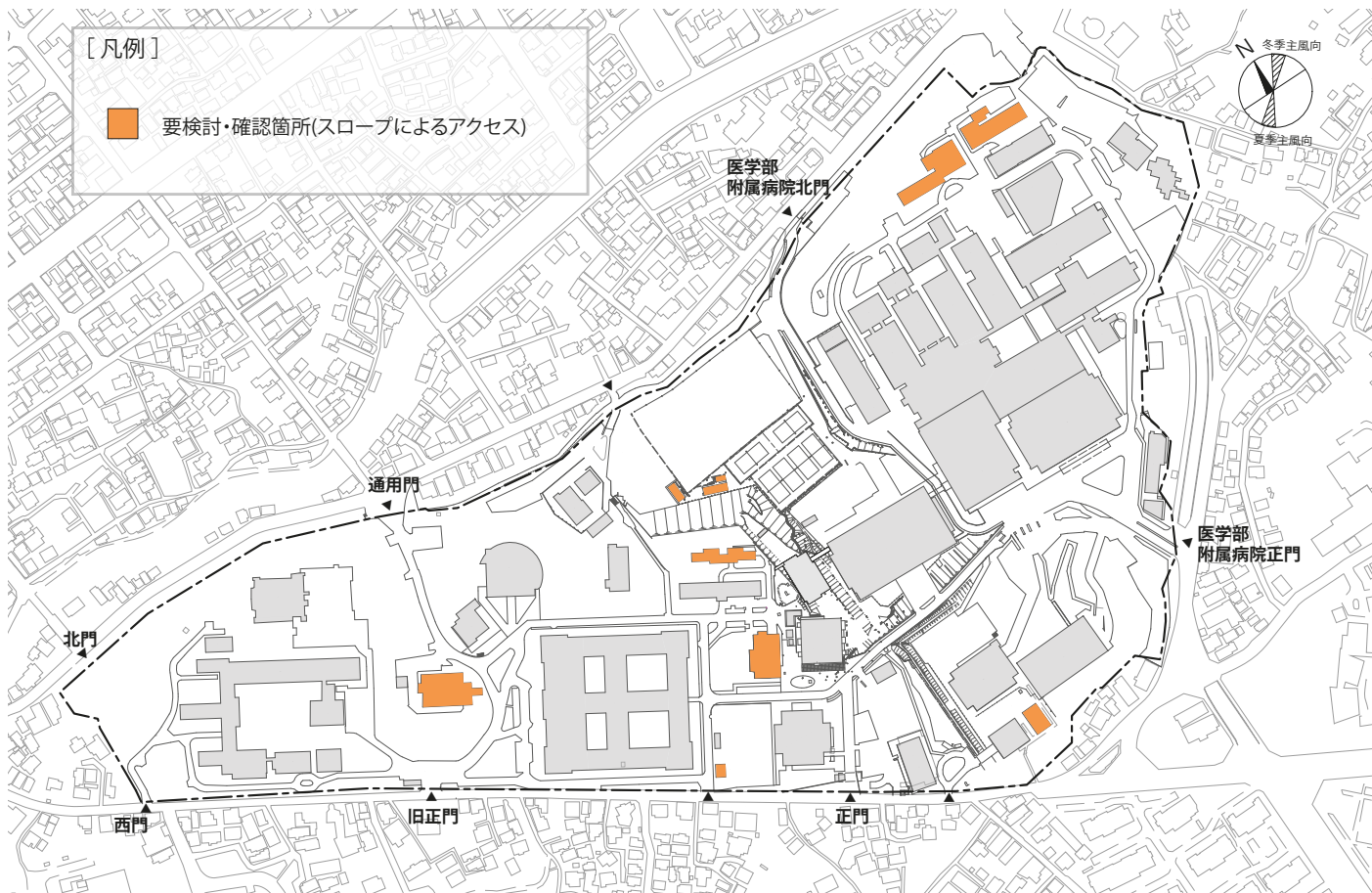


③ 交通誘導板



④ 建物誘導板

# 04-1 バリアフリー



バリアフリーマップ

施設環境部調査より

## ■ CMP2017 からの変化

- ・バリアフリーの不満足度  
40%(2016) → 29%(2021)

## ■ 現状・課題

亥鼻キャンパスでは、身障者エレベーター、身障者トイレ、スロープの整備を推進中である。  
・バリアフリー整備を推進中であるが、十分ではない。

## ■ 検討の方向

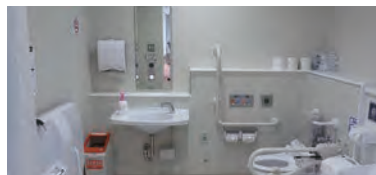
- ・バリアを解消する整備手法の検討
- ・ユニバーサルデザインの検討



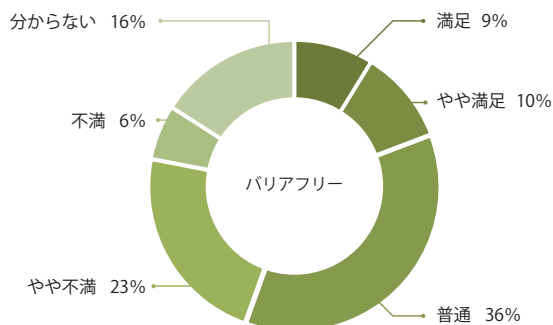
身障者用駐車スペース



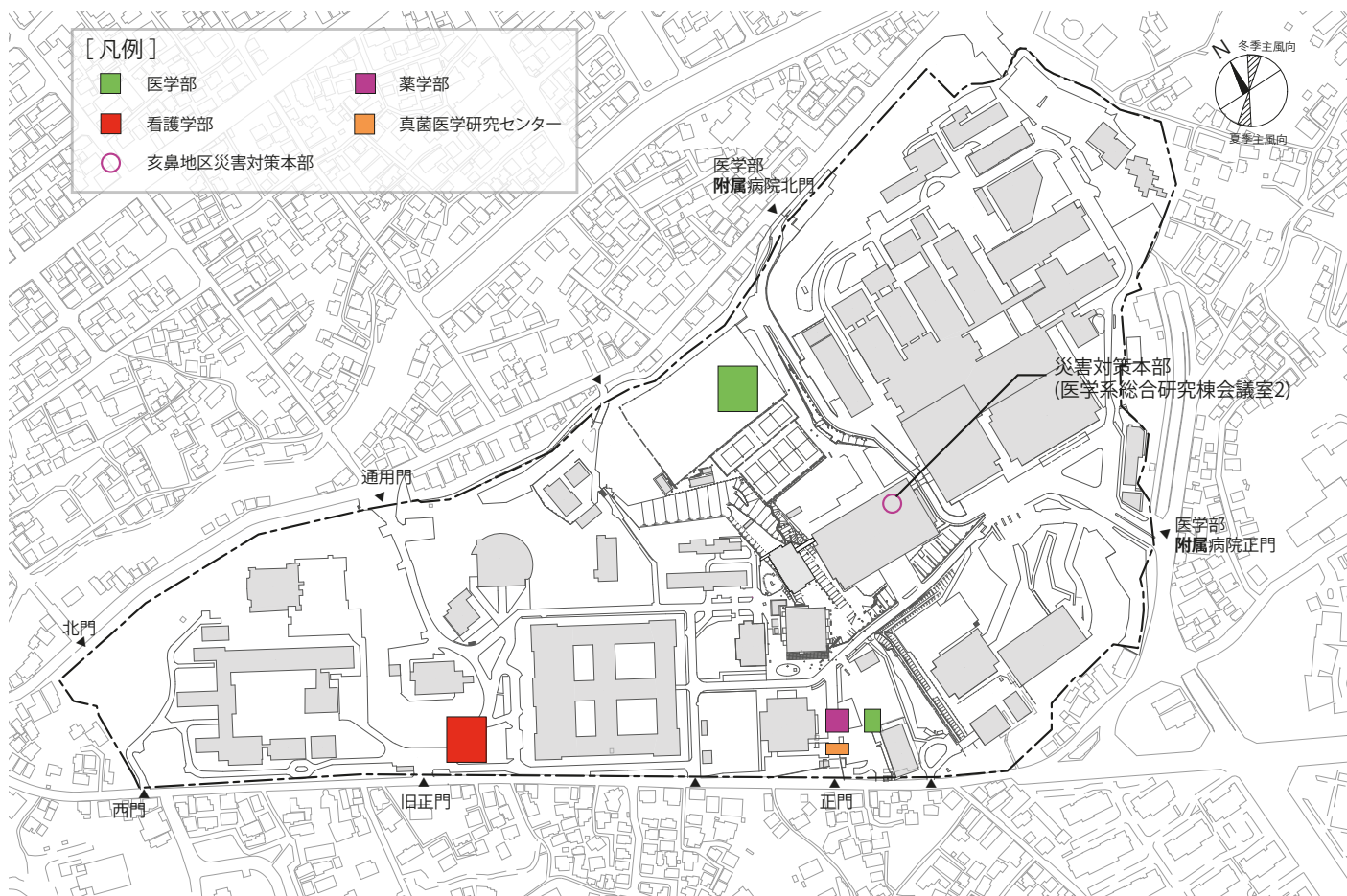
スロープ



身障者用トイレ



# 04-2 避難場所



避難所マップ

千葉大学防災のしおりより

## ■ CMP2017 からの変化

- ・災害対策本部の場所が、医学部本館から医学系総合研究棟内に移動した。

## ■ 検討の方向

- ・災害時の拠点（構成員用備蓄等を含む）
- ・避難場所の再検討

## ■ 現状・課題

- 亥鼻キャンパスでは、千葉市による避難場所の指定はない。
- ・二次避難場所の標高の低い場所は津波が到達する可能性があり、今後検討が必要である。

# 04-3 外灯



外灯分布図

施設環境部データ集より

## ■ CMP2017 からの変化

- ・外灯に関する満足度  
13%(2016) → 15%(2021)



旧医学部本館周辺

## ■ 現状・課題

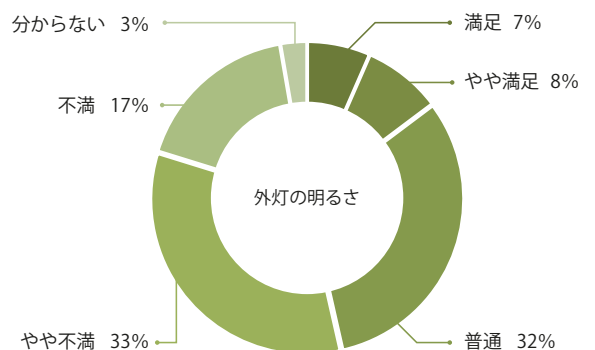
亥鼻キャンパスの主要な道路の外灯、照度は比較的十分であるが、一部に暗がりが生じている部分がある。外部空間の照度を調査し、外部照明計画によって安全性の確保を推進している。



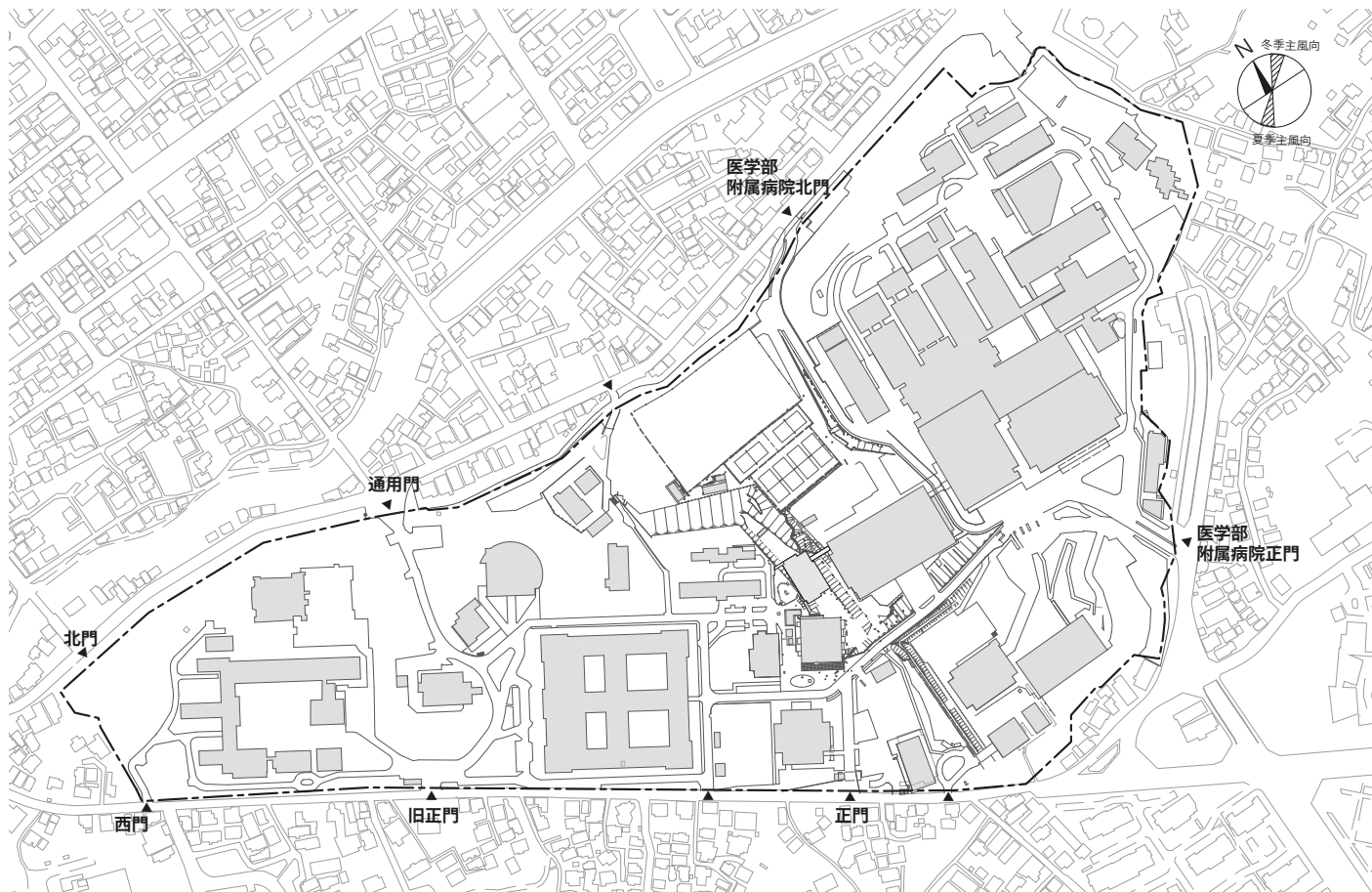
旧医学部本館周辺

## ■ 検討の方向

- ・外灯の増設
- ・外灯の光を遮らない樹木の剪定検討



# 04-4 犯罪・事故



犯罪・事故発生場所分布図

犯罪・事故等の記録資料より

## ■ CMP2017 からの変化

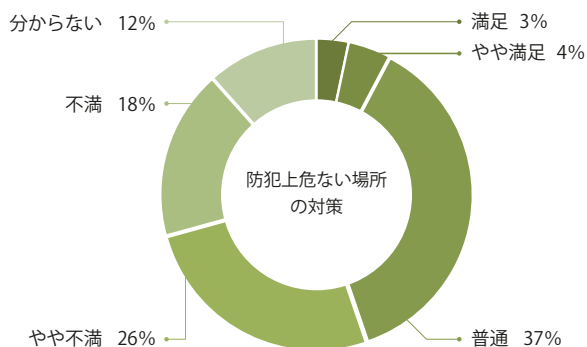
- ・防犯上危ない場所の対策についての不満度  
57%(2016) → 44%(2021)

## ■ 現状・課題

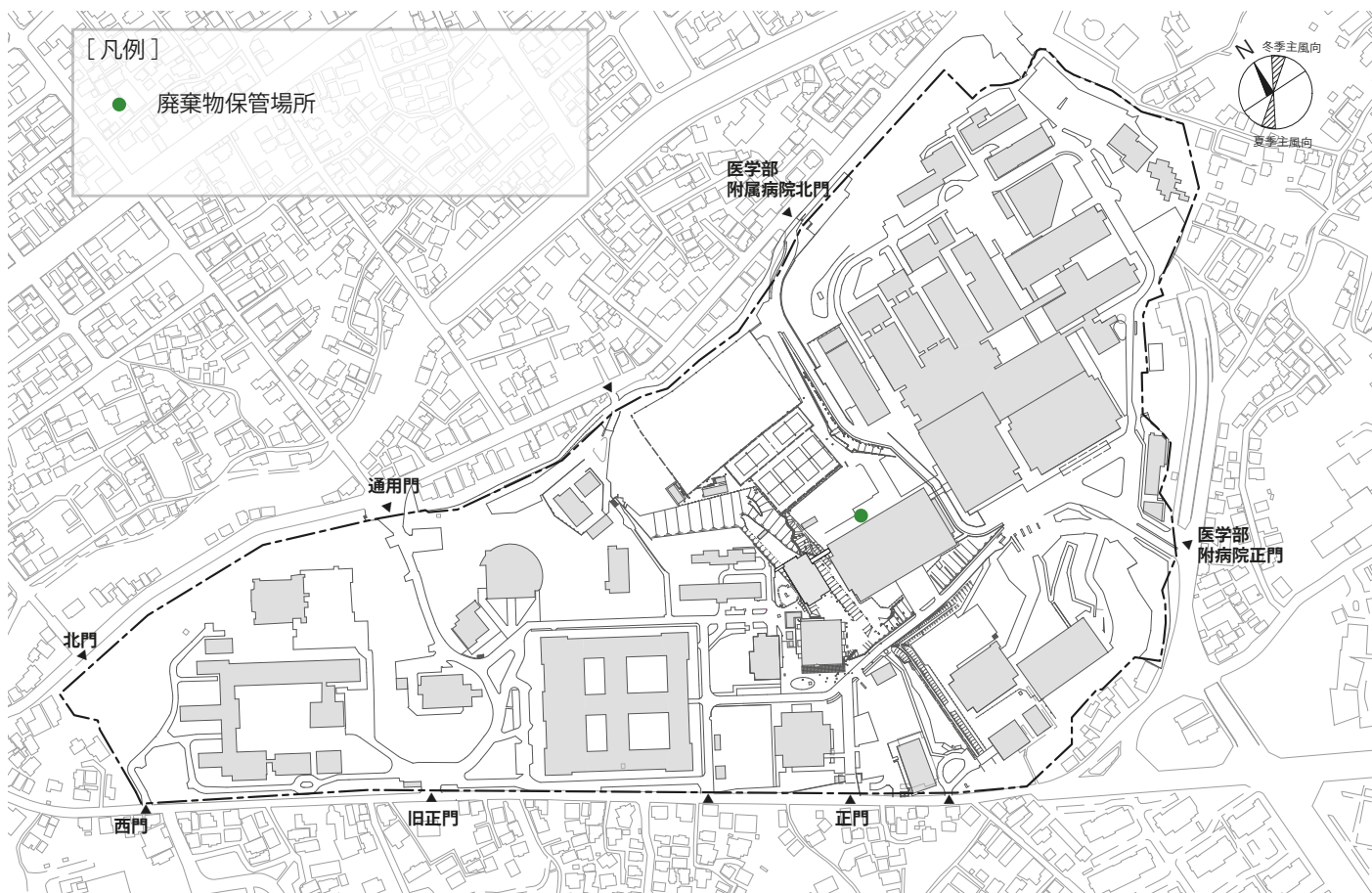
亥鼻キャンパスでは、新型コロナウイルスの影響でリモート講義もあり、キャンパス内での犯罪事故は起こらなかった。

## ■ 検討の方向

- ・建物セキュリティ確保のための標準仕様の策定



# 04-5 廃棄物



廃棄物保管場所分布図

施設総務係資料より

## ■ CMP2017 からの変化

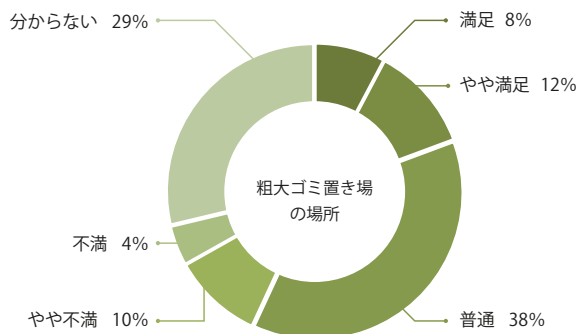
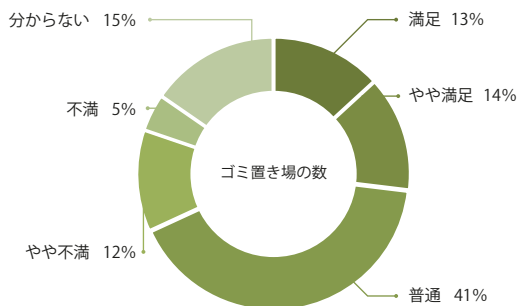
- ・ゴミ置き場の場所の数についての不満度  
7.6% (2016) → 16.5% (2021)
- ・粗大ゴミ置き場についての不満度  
17.3%(2016) → 14.4%(2021)

## ■ 現状・課題

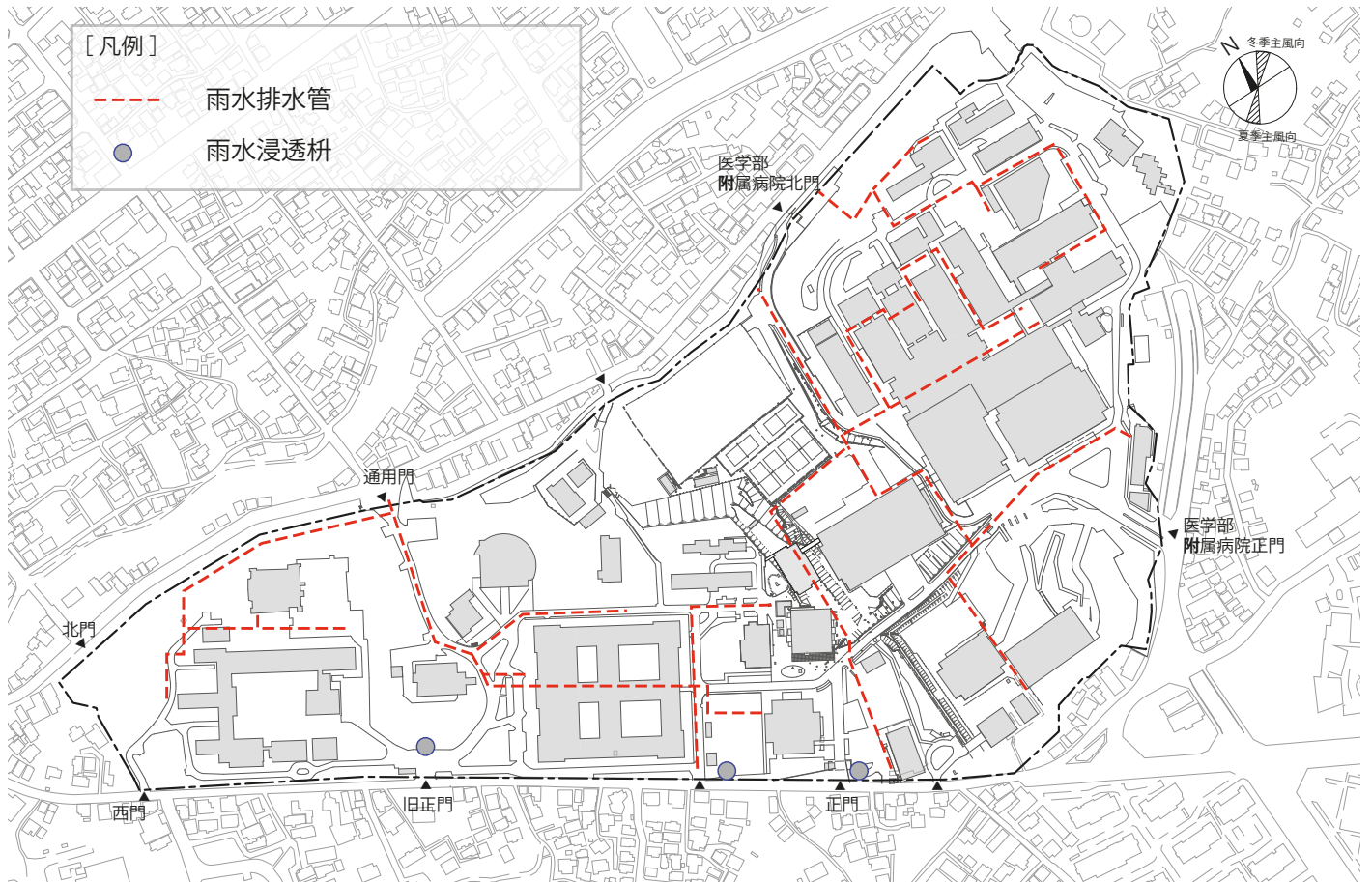
亥鼻キャンパスには、一般廃棄物、産業廃棄物のほか、医療系廃棄物の保管場所がある。

## ■ 検討の方向

分別の徹底



# 04-6 都市型豪雨



雨水・排水経路図

施設環境部データより

## ■ CMP2017 からの変化

## ■ 現状・課題

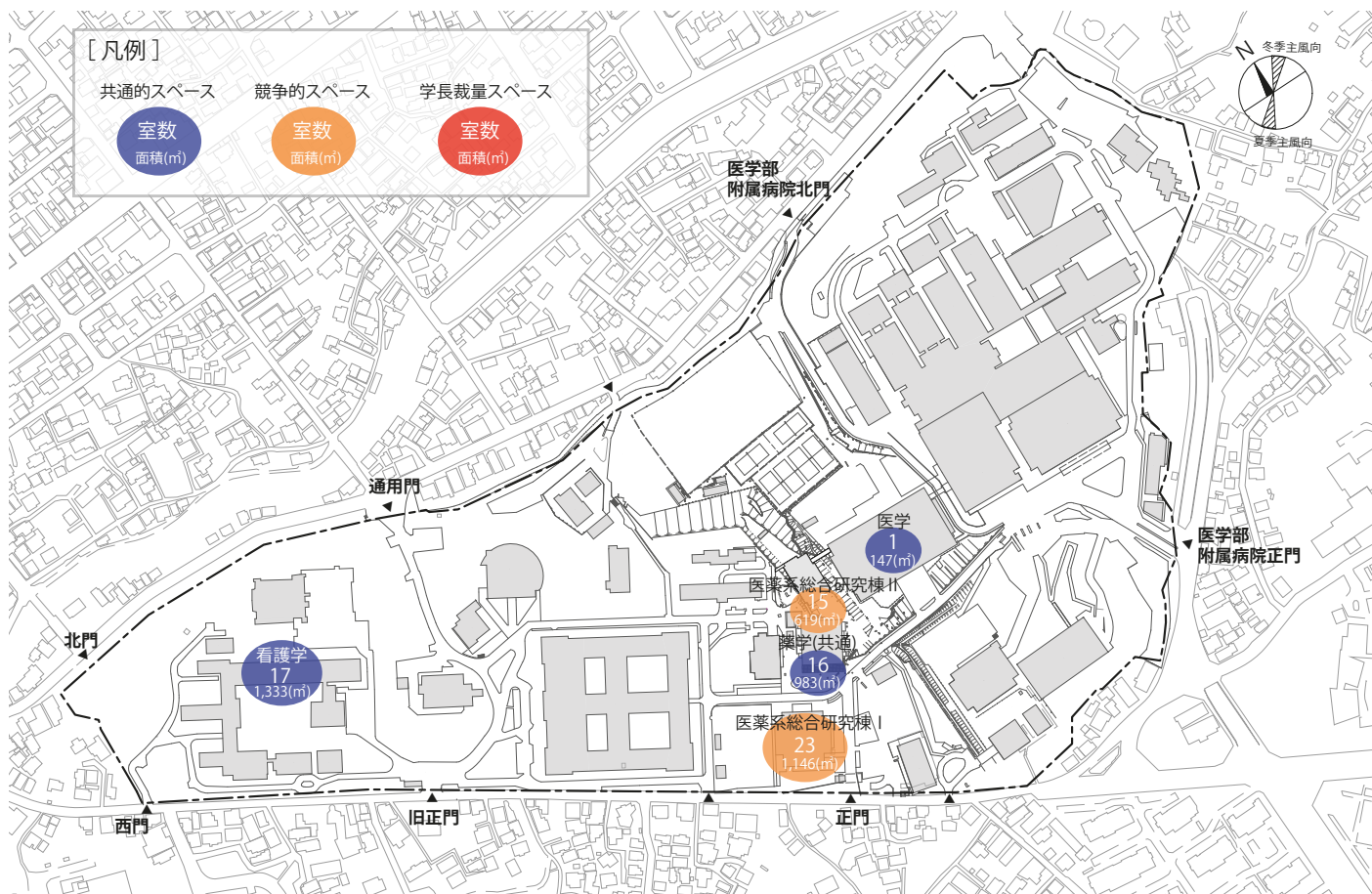
亥鼻キャンパスは、敷地に高低差があり、周辺地域への流れ出しのおそれがある。

- ・ 豪雨時における市用水路（丹後堰）への雨水流出
- ・ 地震や集中豪雨時に崩落・崩壊の恐れのある箇所（連絡道路の崖部分）の確認が必要
- ・ 市道（本町 22 号線）の急傾斜部分の点検と管理

## ■ 検討の方向

- ・ 水はけの悪い箇所の把握と改善
- ・ 市用水路への雨水流出抑制
- ・ 急傾斜地の保全

# 05-1 全学共同利用スペース



全学共同利用スペース分布図

施設環境部データより

## ■ CMP2017 からの変化

- ・ 全学で共同利用するスペースの変化  
合計 3,344 m<sup>2</sup> (2016 年) → 合計 4,065 m<sup>2</sup> (2021 年)

## ■ 現状・課題

全学で共同利用するスペースは以下の 2 つのスペースとなっており、内訳は、

共通のスペース  
1,579 m<sup>2</sup> (2016 年) → 合計 2,463 m<sup>2</sup> (2021 年)

競争的スペース  
1,765 m<sup>2</sup> (2016 年) → 合計 1,602 m<sup>2</sup> (2021 年) となっている。

## ■ 検討の方向

- ・ ファシリティマネジメント推進とスペースの有効利用
- ・ 施設管理体制の見直し
- ・ 競争的スペースの集約化



## 05-2 学生寮・宿舎

[ 凡例 ]

- 学生寮・国際交流会館・ゲストハウス敷地
- 教職員宿舎敷地



施設環境部データより

### ■ CMP2017 からの変化

### ■ 現状・課題

亥鼻キャンパスには、学生宿舎であるさつき寮（定員34名）雄翔寮（定員60名）がキャンパス内にあり、利用率は、

- ・さつき寮  
100%（入寮者34名 / 定員34名）
- ・雄翔寮  
13.3%（入寮者8名 / 定員60名）  
である（2022年3月）。
- また、教職員（看護師を含む）用宿舎も配置されている。
- ・レジデントハウス（研修医宿舎）が敷地東側にある。

### ■ 検討の方向

- ・自己保有や民間施設借り上げなどを含めた住居系施設の整備のあり方



① さつき寮



② 看護師宿舎